

基本情報

- ◆ 認定年度: 2019(令和元)年
- ◆ 設置時期: 2019(令和元)年9月
- ◆ 実施部局: 化学研究所
共同実施部局: 高等研究院iCeMS
- ◆ 相手方機関: 復旦大学(中国)
- ◆ 設置タイプ: アウトバウンド型
- ◆ 設置目的: 化学分野最先端研究の共同実施、化学分野人材交流の促進
- ◆ 設置場所: 復旦大学(中国・上海)
- ◆ 活動内容: 化学分野の最先端研究を推進し、国際共同研究・共同利用の拡大や現地研究機関との連携強化を図る。



活動による大学全体への波及効果

- 国際共同利用・共同研究拠点としての活動推進
- 研究資源・設備の共有による研究の効率化
- 化学分野でのトップ学生リクルート

【2025年度】

- 京都大学から9名の教員を復旦大学へ派遣し、復旦大学化学科にて「第5回Shanghai-Kyoto Chemistry Forum」を開催した。新材料、エネルギー変換、ケミカルバイオロジー分野の最新の研究成果について講演し、共同研究を議論した。
- 上海交通大学の学部生(特進)2名をiCeMSにて6週間受け入れた。

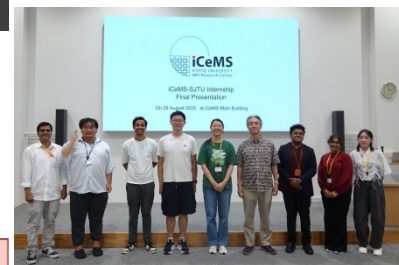
活動概要

- ◆ 先進的な化学の共同研究(多孔性材料などの新材料、エネルギー変換、ケミカルバイオロジーなど)
- ◆ 復旦大学・上海交通大学・上海科技大学の最先端研究機器、京大の機器を相互共同利用
- ◆ 中国科学院国家化合物ライブラリー(200万化合物)共同利用
- ◆ 京都大学の反転講義活用、中国トップ校からの留学生誘致
- ◆ 客員教授招へいによる研究費獲得や若手研究者交流の促進

*外部資金への積極的な応募
*進出企業との共同研究



自走運営の資金確保へ



上海交通大学学部生とiCeMSメンバー(京都)



Shanghai-Kyoto Chemistry Forum, 2025(上海)

2025年度の主な活動実績

① The 5th Shanghai-Kyoto Chemistry Forum 2025の開催

令和6年11月に日本人に対する中国渡航ビザ免除措置が再開された。そのため、令和7年度は京都から上海への渡航を再開し、上海・復旦大学にて2025年11月21日「第5回Shanghai-Kyoto Chemistry Forum」を開催した。京都大学化学研究所からは7名、京都大学アイセムスからは2名、復旦大学からは10名が講演を行った。今回は若手教員も参加し、新材料・エネルギー変換・ケミカルバイオロジーなど幅広い分野で研究成果を発表した。本フォーラムを通じて、研究資源の効果的な活用や国際的な共同研究のあり方を議論するとともに、若手研究者にとっては新たな学術的視点や研究展開の可能性を見出す貴重な機会となった。



② 次世代育成プログラム

- 上海交通大学から選抜された学部生（特進）2名を令和7年度に京都大学iCeMSと化学研究所にて受け入れ、6週間のインターンシップを行った。1名は国費留学生に応募し、化学研究所への留学を目指している。今後も提携して継続することとなった。
- 浙江大学で材料科学を専攻する41名の学部生が2025年6月27日にiCeMSを訪問し、シバニア教授が学部生用の講義を行った。中国語での解説も含み、留学の促進を行った。

